

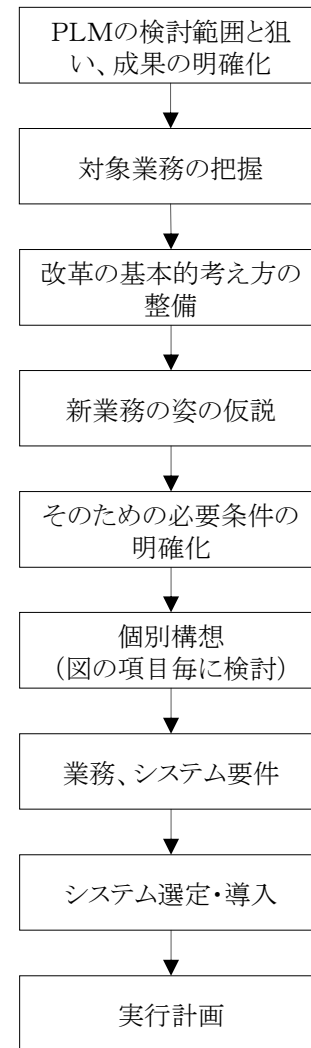
4.8 PLMの導入

PLMとは、企画、デザイン、設計、購買、生産管理、サービスまでの業務において、設計情報を連携させた管理を行なうことをいいます。ただその範囲と求める機能は、企業によって様々であり、個々の活動の際に明確化し、さらにそれによってどのような効果を実現したいのかを明確化した活動にしていくと良いでしょう。

設計の情報（技術情報、図面、仕様書等々）は、設計進捗に沿って常に変化し続ける状態での管理が求められています。よって日々の設計進捗の管理や、流用設計等のような活用の管理に主眼を置いて管理されます。そこでは、設計部品表と関連させて、管理されることとなります。

さらに設計資料は、生産や購買のために作られるわけで、そこへの連携を考える必要があります。ここでも購買部品表、生産部品表と連携して、管理され、活用されるようにする必要があります。ただ図面は必ずしも、調達単位、外注単位、加工組立単位になっていないことが多いので、購買・生産・サービス等の活用を考えた管理単位の見直し整合化も行なうべきでしょう。

展開ステップ



PLMでできる機能例

